

かめやま KAMEYAMA 市議会だより

第 2 号

平成 17 年 5 月 1 日
発行・三重県亀山市議会
編集・市議会編集委員会
三重県亀山市本丸町577
☎(0595)84-5059

URL
<http://www.city.kameyama.mie.jp/gikai/>



子ども相撲大会(観音山春まつり)

議会の主な動き

- | | | | |
|---|----------------|---|----------------|
| <p>30日 定例会閉会</p> <p>29日 鈴鹿亀山地区広域連合議会(鈴鹿市)</p> <p>25日 予算特別委員会(28日と)</p> <p>24日 総務委員会</p> <p>23日 教育民生委員会</p> <p>22日 産業建設委員会</p> <p>15日 一般質問(16日・17日と)</p> <p>14日 議会運営委員会、議案質疑</p> <p>4日 定例会開会、代表者会議</p> <p>2日 総務委員会管内視察</p> <p>1日 教育民生委員会管内視察</p> | <p>※ 三 月 ※</p> | <p>28日 産業建設委員会管内視察</p> <p>22日 議会運営委員会</p> <p>21日 第二回臨時会</p> <p>16日 鈴鹿亀山地区広域連合臨時会(鈴鹿市)</p> <p>15日 全国高速自動車道市議会協議会総会(東京都)</p> <p>14日 全員協議会、議会運営委員会</p> <p>9日 三河鈴鹿農業共済事務組合議会(菰野町)</p> <p>8日 埼玉県三郷市議会視察来庁(企業誘致)</p> <p>7日 議会運営委員会、代表者会議</p> <p>4日 三重県市議会議長会総会(伊賀市)</p> <p>2日 香川県観音寺市議会視察来庁(行政改革)</p> <p>1日 愛知県長久手町議会視察来庁(議会運営)</p> | <p>※ 二 月 ※</p> |
|---|----------------|---|----------------|

平成17年度予算規模

予算特別委員会で新年度の各予算を審査

14日の本会議で設置された予算特別委員会は、25日と28日の2日間開催し、まず委員長に桜井 勉委員を、副委員長に打田孝夫委員を選出し、各会計予算について慎重な審査を行いました。その結果、いずれの会計予算も賛成多数または全会一致で可決すべきものと決し、本会議に報告がありました。

なお、委員会の審査の過程で出された次の意見を市長に伝えました。

- ◎一般会計予算については、骨格型の位置づけであるが、委員会で出された意見を十分尊重し、効果的に執行されたい。
- ◎合併に伴う調整事項については、速やかに一体化を図るとともに、その指針となる条規の整備を早急に行われたい。
- ◎議案審議には、十分な資料を提出し、更に議論を深めることができるよう配慮願いたい。

審査をした新年度各会計予算

		(伸び率%)
◇一般会計	188億9,940万円	(△6.0)
◇国民健康保険事業特別会計	30億4,110万円	(3.0)
◇老人保健事業特別会計	38億5,440万円	(△4.1)
◇農業集落排水事業特別会計	7億9,810万円	(△11.2)
◇公共下水道事業特別会計	14億5,040万円	(10.7)
◇水道事業会計	14億9,190万円	(△6.5)
◇工業用水道事業会計	1億3,900万円	(△57.7)
◇病院事業会計	19億7,260万円	(2.9)
◇国民宿舎事業会計	2億1,240万円	(△25.9)

※伸び率は、平成16年度の旧亀山市と旧関町の当初予算額の合算額との比較

平成十七年三月定例会は、四日に招集され、三十日までの二十七日間の会期で開催しました。開会日には、市長から平成十七年度施政及び予算編成方針を、教育委員会委員長から教育行政の一般方針の説明を受けた後、議案の提案理由の説明が行われました。そして、十四日には議案質疑を、十五日から十七日までの三日間は、市政に関する一般質問を行いました。また議案のうち、平成十七年度各会計予算の審査については、委員十六名で構成する予算特別委員会を設置し、その審査を付託しました。他の議案についても、それぞれ所管の常任委員会へ付託しました。

三十日の最終日には、各議案について、予算特別委員会並びに各常任委員会委員長から審査報告を受け、採決の結果、原案のとおり可決することに決しました。

◇第二回臨時会議案一覧◇ 二月二十一日開会

(議案第〇号↓議〇)

○可決した議案

- 議2 三重地方税管理回収機構規約の変更について
- 議3 三重県自治会館組合規約の変更について
- 議4 三泗鈴亀農業共済事務組合規約の変更について

○同意した議案

- 議5 亀山市助役の選任同意について
- 議6 亀山市収入役の選任同意について
- 議7 亀山市監査委員の選任同意について
- 議10 亀山市公平委員会委員の選任同意について
- 議13 亀山市固定資産評価審査委員会委員の選任同意について
- 議16 亀山市教育委員会委員の任命について

◇三月定例会議案一覧◇ 三月四日開会

(議案第〇号↓議〇)

○可決した議案

- 条例の制定、改正
- 議21 亀山市表彰条例の制定について
- 議22 政治倫理の確立のための亀山市長の資産等の公開に関する条例の制定について
- 議23 亀山市子育て支援センター条例の制定について
- 議24 亀山市心身障害児童福祉手当支給条例の制定について
- 議25 亀山市重度心身障害者介助者手当支給条例の制定について
- 議26 亀山市国民健康保険税条例の制定について
- 議27 亀山市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について
- 議28 亀山市手数料条例の一部改正について
- 議29 亀山市文化財保護条例の一部改正について
- 議30 亀山市伝統的建造物群保存地区保存条例の一部改正について
- 議31 亀山市福祉医療費の助成に関する条例の一部改正について
- 議32 亀山市農業集落排水処理施設条例の一部改正について

議案質疑・一般質問

発言通告の要旨

三月定例会に、各議員から通告があった議案質疑、一般質問の内容(要旨)は、次のとおりです。

※掲載は質問順、《 》は所属会派

議案質疑

竹井道男《市民クラブ》

●平成十七年度予算編成方針について
1何を基本に予算を編成したのか
2大型の事業については総合計画策定後になってくるのか

●合併に関する特例について
1地方交付税の額の算定の特例について
①どのような基準で算定、交付されるのか
②不交付団体になつての影響はあるのか

2合併特例債について

①不交付団体になつた場合でも特例債は借り入れはできないのか
②その場合、交付税措置について

いは担保されるのか

●臨時財政対策債について

1不交付団体でも臨時財政対策債は借り入れできるのか
2後年度に交付税負担があるが、不交付団体の場合はどのようになるのか

●不交付団体になることについて

1起債における交付税措置への影響はあるのかについて
●不足財源の対応について
1財政調整基金は十六年度決算でどれ位を見越しているのか

2今後の奨励金の影響は実質どれ位を見通しているのか
3最終的に補填財源の不足は生じてこないのか

●工業用水道事業会計について

1資金調達の方考え方について
今回はなぜ企業債なのか

宮崎勝郎《緑風会》

●議案第四十二号平成十七年度

度亀山市一般会計予算について

1今回の予算については、骨格予算と思われるが、肉付予算について伺う

●議案第二十三号亀山市子育て支援センター条例の制定について

1なぜこの時期に条例の制定が必要なのか

●議案第二十六号亀山市国民健康保険税条例の制定について

1今回改正点の主なものは

2低所得者への負担が考慮されているが、低所得者とはどのような人か

3なぜ、納期は八期なのか

●議案第二十七号亀山市職員勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について

1早出、遅出を申し出る職員はどのような職員か

2早出、遅出を申し出た時、許可した場合、業務に支障はないか

3その職員の管理はできるのか

橋本孝一《親和会》

●議案第三十三号平成十六年度

度亀山市一般会計予算について

○平成十六年度予算

議33 平成十六年度亀山市一般会計予算について

議34 平成十六年度亀山市国民健康保険事業特別会計予算について

議35 平成十六年度亀山市老人保健事業特別会計予算について

議36 平成十六年度亀山市農業集落排水事業特別会計予算について

議37 平成十六年度亀山市公共下水道事業特別会計予算について

議38 平成十六年度亀山市水道事業会計予算について

議39 平成十六年度亀山市工業用水道事業会計予算について

議40 平成十六年度亀山市病院事業会計予算について

議41 平成十六年度亀山市国民宿舎事業会計予算について

○平成十七年度予算

議42 平成十七年度亀山市一般会計予算について

議43 平成十七年度亀山市国民健康保険事業特別会計予算について

議44 平成十七年度亀山市老人保健事業特別会計予算について

議45 平成十七年度亀山市農業集落排水事業特別会計予算について

議46 平成十七年度亀山市公共下水道事業特別会計予算について

議47 平成十七年度亀山市水道事業会計予算について

議48 平成十七年度亀山市工業用水道事業会計予算について

議49 平成十七年度亀山市病院事業会計予算について

議50 平成十七年度亀山市国民宿舎事業会計予算について

○その他

議51 市道路線の廃止について

議52 市道路線の認定について

議53 市道路線の変更について

議員提出議案第5号 市長専決処分事項の指定について

1 暫定予算との差が大きい。その理由と十七年度予算への影響は何か

● 議案第四十二号平成十七年度亀山市一般会計予算について

- 1 骨格型予算とは何か
- 2 重点政策を含めた本格予算の提案は六月以降の補正で計上されるのか

● 歳出 第四款衛生費の斎場建設事業について

- 1 十六年度予算と同額で再計上された。執行する自信はあるのか
- 2 建設事業の基本構想はあるのか

● 議案第四十八号平成十七年度亀山市工業用水道事業会計予算について

- 1 特異な企業会計であり黒字化の対策は何か
- 議案第三十二号亀山市農業集落排水処理施設条例の一部改正について

- 1 旧亀山市と加入金が大幅に異なるがその理由は何か

前田 稔《関和会》

● 議案第三十三号平成十六年度亀山市一般会計予算について

- 1 関宿温泉施設整備事業は温

泉掘削工事の遅延により、施設整備工事の施工ができないため、八千八百八十二万円

の減額になったが、今後この事業はどうなるのか

2 温泉の分析結果が二月上旬にでているがなぜ公表しないのか、公表を求める。

● 議案第四十二号平成十七年度亀山市一般会計予算について

- 1 新市誕生を祝す事業はあるのか
- 2 商工費 納涼事業補助金

(亀山市納涼大会と観光協会補助金(関宿納涼花火大会)のそれぞれの総事業費に対する補助率を知りたい

- 3 教育費 耐震化補強事業は五カ年計画で進めるとあるがどのような基準で順番を決めたのか
- 4 関小学校の補強工事はいつするのか

宮村和典《緑風会》

● 議案第四十二号平成十七年度亀山市一般会計予算について

- 1 産業振興奨励金十二億三千七百七十八万円からみて固定資産税の増加と法人税の増加が見込まれるが予算上

に問題はないか

● 議案第五十号平成十七年度亀山市国民宿舎事業会計予算について

- 1 営業収益二億四百九十一万六千円の根拠は何か
- 2 営業費用二億五百六万九千円の内人件費、広告宣伝費、手数料、交際費の根拠は何か

● 平成十七年度予算について

- 老人福祉費緊急通報体制整備事業委託料千三百八十九万円
- 老人クラブ補助金六百五十一万円
- 高齢記念品八十万二千元
- 敬老祝い金三百四十万円
- 敬老会開催事業六百六十七万四千元

櫻井清蔵《関和会》

● 議案第四十二号平成十七年度亀山市一般会計予算のうち、歳入について

- 1 国の三位一体の改革による国庫補助負担金の削減が亀山市で二億四千万円ほどになるが、市民サービスの低下などの影響は出ないのか
- 2 地方交付税の一部の振りかえ措置である臨時財政対策債が約六億円あるのに、新市の計算では地方交付税は不交付の見込みだとい

わかりやすく説明をしていただきたい

- 議案第四十二号平成十七年度亀山市一般会計予算のうち、民生費の部落解放同盟関支部補助金について
- 1 二〇〇二年三月末に同和对策特別措置法が失効した現在、こうした運動団体への補助金は法的に適切なものなのか
- 2 最近、滋賀県近江八幡市の同和団体への補助金支出が違法とされ、返還すべきという判決が大阪地裁で出されたが、この判決をどう受け止めているのか

ついで

服部孝規《いずれの会派にも属さない》

● 議案第四十二号平成十七年度亀山市一般会計予算のうち、歳入について

- 1 この条例が目的とすること
- 2 この条例では資産等補充報告はしなればならないが、減少についての報告はどう
- 3 資産等の所有者が市長本人に限られているが、家族名義を含まないのはなぜか

● 議案第二十六号亀山市国民健康保険条例

- 1 国民健康保険税の平準化は、低額所得者にとつて負担がふえると思われるが、この条例でそういった状況になるのではないかと
- 2 資産割額を四〇%から二〇%に減ずることは資産をもたない借家人等の負担が増えるのではないかと
- 3 十六条の二項で保険税の減額を行わないのはどんな場合か
- 4 十六条の三項で申請主義がうたわれているが、該当者全員にどうやって徹底するのか

小川久子《いずれの会派にも属さない》

● 議案第二十二号政治倫理の確立のための亀山市長の資産等の公開に関する条例の制定について

- 1 国民健康保険税の平準化は、低額所得者にとつて負担がふえると思われるが、この条例でそういった状況になるのではないかと
- 2 資産割額を四〇%から二〇%に減ずることは資産をもたない借家人等の負担が増えるのではないかと
- 3 十六条の二項で保険税の減額を行わないのはどんな場合か
- 4 十六条の三項で申請主義がうたわれているが、該当者全員にどうやって徹底するのか

●議案第四十二号平成十七年度亀山市一般会計予算についてのうち「市税」について

- 1 市税収入が対前年度比、二・九%と大幅な増額になっているが、そのうち市民負担増について問う

大井捷夫 《いずれの会派にも属さない》

●議案第四十二号平成十七年度亀山市一般会計予算について

- 1 市長の公約である四つの特性を活かした街づくり、六つの柱で構成する「新亀山活力創造プラン」を今年度予算にどの様に反映されたのか
- 2 新年度予算の編成は新たなまちづくりのスタートとなるが施策の推進と大綱、アクションプランをどの様に進められるのか
- 3 補助金の見直しについて
- 4 機関委任事務の県からの移譲事務について

●議案第二十四号亀山市心身障害児福祉手当支給条例及び議案第二十五号亀山市重度心身障害者介助者手当支給条例の制定について

- 1 この事業における合併協議

会での協議と新市での調整について

- 2 これまでの旧関町と旧亀山市の児童は年金となっている。今回、福祉手当となっているが考えはあるのか
- 3 対象者はどれぐらいか、また支給額は亀山市の例により調整されていると思うが財源的にどれだけ増加するのか

一般質問

中村嘉孝 《関和会》

●地方分権一括法関連

- 1 地方分権の推進に伴い、どのような取り組みをお考えか
- 2 分権自治の基本となる市民参画について

●合併特例債について

- 1 今後の合併特例債の使途方針について
- 2 合併特例債の金額の試算及び今後の市債残高、公債費比率の推移は

●ペイオフ関係について

- 1 ペイオフ解禁と公的資金の保全措置について
- 2 公金の管理状況
- 3 体制整備として、公金管理

委員会（仮称）等の設置について

●地域コミュニティの構築について

- 1 地域コミュニティ構築に向けての取り組みと基本方針は（特に旧関町を対象に）
- 2 コミュニティの拠点施設について

●道路整備について

- 1 名阪国道の側道整備について
- 2 国道二十五号線の改良状況と今後の計画について
- 3 名阪国道橋梁部分の遮音壁の設置について

●豊田勝行 《市民クラブ》

●十七年度予算について

- 1 四日市、鈴鹿、桑名、津、各々の予算はいくらか。又、一人当りはいくらか。
- 2 そこから何が言えるのか。年々高くなる個人負担にどの様に市民を守るのか。

●地産地消についての意味

- 1 当地域における表面上（言葉の上での表現）は理解出来るが、大企業、既存企業も含め今後の取り組みについて

●教育

- 1 生涯学習計画策定について、

将来的にコミュニティ単位から亀山の統一発表の場の設置について考えているのか

●南部開発について

- 1 市の方針を問う

●宮村和典 《緑風会》

●市長の就任にあたっての決意について

- 1 助役、収入役、教育長の人事配置のねらいは
- 2 施策（新亀山活力創造プランとマニフェスト）を問う
- 3 当面の課題を問う

●教育長の就任にあたっての決意について

- 1 教育路線を問う
- 2 学校経営を問う
- 3 当面の課題を問う

●宮崎伸夫 《親和会》

●教育について

- 1 将来の子供に対する教育方針

●農業の方針について

- 1 地産地消の総合的組織化と販路拡大の方法とは
- 2 亀山茶に次ぐ新ブランド品とは
- 3 農業と林業の新しいシステムとは

●自然環境の共生について

1 歴史文化と自然環境の共生した町の考え方

前田 稔 《関和会》

●関宿温泉プラザについて

- 1 市長の考え方を聞きたい

●教育問題について

- 1 新亀山市の教育について教育長の教育方針を聞きたい
- 2 中学校給食について
- ① 関中では完全給食が実施されているが亀中と中部中ではミルク給食である。このことについてどのように考えているか
- 3 児童、生徒、学校の安全について

①池田小学校児童殺傷事件、奈良女児誘拐殺人事件、寝屋川の教師殺傷事件など、

- 2 昨今、児童、教師が危険にさらされる事件が多発しているがどのような対策を考えているのか
- 4 CAP（子どもへの暴力防止）の予算化について

①CAPは子どもたちが生きていくために必要な権利について学びます、そしてその権利を奪おうとする虐待

- 2 やいじめ、誘拐などのあらゆる暴力に、心とからだを知識をもって立ち向かえる

ようになる防止教育プログラムです。

5 関小学校のエレベーターについて

①エレベーター設置はどうなったのか

●坂下宿く亀山宿の東海道歴史回廊について

1 坂下宿、関宿、亀山宿のそれぞれの具体的な構想を聞きたい

●防災について

1 新市の防災対策はどうなっているのか

2 公共施設及び橋梁の耐震について

耐震補強はいつ終わるのか

3 亀山市の防災無線について

関は広報無線を整備してあるが旧亀山市にはないのでどう考えているのか

●国道一号関バイパスについて

1 坂下までの残りの事業化を早急に実現するよう要望する

片岡武男《市民クラブ》

●建築改築時等の必要事項について問う

1 建築確認申請書の提出ルートは如何にされているのか
2 申請書は提出され確認後建

築されているのかは何処がチェックしているのか

3 セットバックへの指導はどのようにされているのか。

法律・条例は何年から4 セットバックへの今後の指導計画は

5 四階以上を建築の場合には道路幅を六メートルは必要への改正への考えはないか

●小学生の社会見学について問う

1 市内の施設見学はどの様にされているのか

2 小学五年生のリニア試乗会への展望は

坊野洋昭《緑風会》

●地方分権について

1 合併に伴う県から市への権限移譲は何かあったか、その内容と件数

2 今後、権限移譲を予定(検討)されている内容には、どの様なものがあるか

3 市として今後、強く移譲を要求したい事は何か

4 県への働きかけ(市の取り組み)として、どの様な方法を考えているか

5 権限移譲のメリットと事務量の増加による人件費増についての展望は

●合併について

1 メリットの一つである人件費の問題について

2 観光協会について

水野雪男《親和会》

●新亀山市民の一体感の醸成について

1 市民二つの輪を一つの輪にする方策を問う

2 道路整備とバス路線の再編をどう考えるのか

3 公共施設の利活用促進について

●市民参加型まちづくりについて

1 新しい発想での参加、協働の方式を考えないか

2 地域審議会に代わる組織とはどういうことを想定しているのか

3 住民自治基本条例(仮称)を制定すべきと思うか

●新市の財政の見通しについて

1 中期的な財政の見通しについて

2 合併特例債をどう取扱うのか

●シャープ亀山工場の現状と第二工場建設への対応について

1 第一工場稼働後の現状を問

う

2 産業政策上必要とする道路整備を急げ

3 住宅建設の促進策について

増亦 肇《関和会》

●歴史文化に対する取り組みについて

1 関が増えたことで歴史文化の価値が、増したと思えるが一体化して、今後にたいし発展的な考えがあるのか

2 重要伝統的建造物群保存地区、今後どうするのか

●地域交通について

1 周辺地区の交通網をどのようにするのか

2 現在のコミュニティバスの運行は

3 関西線複線化の運動の進捗は

4 JR東海、JR西日本の経営の境駅を柘植駅まで延ばす運動を起こせないか

●市長の公約について

1 市民参画をどのようにしていくのか

2 少子化対策のメニューは何を考えているのか

3 「合併してよかったと喜びあえるまちづくり」とはどのような計画があるのか、また、いつ頃になるのか

●都市計画税について

1 合併後、新たに都市計画税が、旧関町に課せられるがどのようなかたちで還元をするのか

●管理回収機構について

1 三重県全市町村で構成されている回収機構による当市の回収実績及び今後の考え方は

●亀山駅周辺整備は

1 以前の亀山駅前の賑わいの復活を望むが、再開発計画は、又南北を含めた周辺整備は

前田耕一《市民クラブ》

●液晶関連企業の増設計画に伴う雇用対策について

1 雇用の現況について

2 今後の雇用対策について

●環境と共生するまちづくり

1 大規模自然公園のコンセプト作成について

2 「自然の森公園」計画との関連について

●スポーツ施策の推進について

1 スポーツ振興について

2 スポーツ施設の充実・改修について

3 スポーツ振興室の新設について

宮崎勝郎 《緑風会》

●バス運行について

1 自主運行バス・コミュニティバス・福祉バスの運行、利用状況はどうか
2 道路整備について

●道路整備について

1 県道、市道のかかわる部分の整備を今後どのようにするの
2 観光の振興について

●観光の振興について

1 当市の観光資源として、伝統的建造物群保存地区の関宿が入っているが、どうなるのか
2 機構改革について

●機構改革について

1 部制と大課制をどのように考えているのか
2 地域に開かれた学校運営について

●地域に開かれた学校運営について

1 地域に開かれた学校と、学校侵入事件とのかかわり、今後どのようにしていくのか
2 打田孝夫 《関和会》

打田孝夫 《関和会》

●関宿にぎわいゾーン整備計画について

1 温泉・温浴施設の整備計画について
2 ①ドリコ株からの掘削結果報告について

①ドリコ株からの掘削結果報告について

(湧出量 温度 成分)

② 温泉審議会への報告準備は(八月の審議会)

③ 旧関町民の温浴施設への想いへの理解は

④ 利用地の借地又は買収計画は
⑤ 特例債の利用計画は
⑥ 工事着工時期は
⑦ 図書館の整備は
⑧ 中央コミュニティセンターの整備は

松上 孝 《市民クラブ》

●拠点市街地(椋川左岸丘陵地等)の活性化について

1 人口の確保から定住化に何が足りないのか
2 商業の活性化に何が足りないのか
3 安全・安心の街づくりに関が足りないのか
4 水田農業構造改革の取り組みについて

●水田農業構造改革の取り組みについて

1 農地流動化の促進に市は何が足りないのか
2 利用権設定等の促進に農家及び農業委員会は何が足りないのか
3 営農組合等地域農業に何が足りないのか
4 自然的環境の整備又は保全に関する取り組みについて

●自然的環境の整備又は保全に関する取り組みについて

1 環境保全システムで何が足りないのか

② 防犯システムで何が足りないのか
③ 景観構成システムで何が足りないのか

伊藤彦太郎 《関和会》

●保育における給食について

1 現在、旧亀山市の保育所で行われていた米飯持参を旧関町の保育所及び幼稚園でも適用する方向にあるとのことである。行政として米飯持参を推進する根拠は、特に保育所における米飯持参推進の根拠を聞きたい。また、本来保育所における乳幼児の食事を準備する役目は誰が負うべきであるのか、市長の考えを聞きたい。

●平成十七年度施設及び予算編成方針について

1 方針中にて救急業務について「軽易又は緊急性が無い」と判断される救急出動要請の自粛、抑制」とあるが、「軽易又は緊急性が無い」と判断される救急要請が実際にあるのか。また「軽易又は緊急性が無い」という判断は誰が行うのか

●環境再生事業について

1 完成後の管理のあり方について
2 教育委員会との連携は

●消防行政について

1 亀山市北東部(みどり町)地域の消防、救急体制の充実について
2 教育について

●コンプライアンスについて
1 基本的な取り組みの考え方について
2 取り組みにあたっての組織作りは考えているのか
3 情報公開の視点も大事となってくるが、考え方は

●地域審議会に準じた組織作りについて

1 組織作りの時期と委員の編成の考え方について
2 具体的にはどのような審議を考えているのか
3 テレトピア基本計画について

●テレトピア基本計画について

1 現在の進捗状況について
2 生涯学習支援システムで、図書館の整備について
3 行政情報システムで、オンライン型の住民票の発行について

●環境再生事業について

1 完成後の管理のあり方について
2 教育委員会との連携は

●消防行政について

1 亀山市北東部(みどり町)地域の消防、救急体制の充実について
2 教育について

櫻井清蔵 《関和会》

●消防行政について

1 亀山市北東部(みどり町)地域の消防、救急体制の充実について

●教育について

1 合併により新市の中学校が

三校となったが、今後、新市の町づくり計画を進めるにあたり、亀山市南部地域を視野に入れた中学校を新設し、子ども達の遠距離通学の解消及び通学時の安全の確保を進めることにより、南部地域の若い世代の導入策と思うが市長の見解を知りたい

●農政について

1 このたび新市発足にあたり、農業委員会選挙が行われたが、今後も小選挙区をもって農業委員会の運営を行うのかを知りたい

●施設管理について

1 旧関町役場庁舎の今後の活用について知りたい
2 テクノヒルズについて

●テクノヒルズについて

1 平成元年より住友商事、亀山市、関町共同のもと、この事業が進められ、今日亀山地域にシャープ、関地域に凸版印刷等が誘致され操業が開始されたが、新市誕生により今後関工区の開発の見込みについて知りたい

●幼保の給食について

1 幼保において平成十七年四月より主食持参とのことであるが、旧関町の取り扱いについて

竹井道男 《市民クラブ》

●平成十七年度施政及び予算編成方針について

- 1 一項目目の新亀山活力創造プランの「自立した五万人都市」を目指す具体策
- 2 二項目目の治安、消防、医療、福祉の分野で、広域的に取り組みられたと言われているが不十分な施策が在るように見受けられるが今後の取り組みについてを知りたい
- 3 三項目目の真の行財政改革とは
- 4 市民全体の意見が十分反映され、「地域の声」がしっかりと届く体制づくりの具体例を知りたい
- 5 北勢沿岸流域下水道事業の事業許可変更の中で関地区の北部、南部地域の取り組みは
- 6 軽易又は緊急性が無いと判断される救急出動要請の自粛、抑制策などと言われているが、どのような策を講じるのか

●平成十七年度社会福祉法人事業計画書

- 1 地域福祉事業
- 小地域ネットワーク活動（地区コミュニティ）助成事業

大井捷夫 《いずれの会派にも属さない》

●新市に向けての自立した五万人都市創りの実現に向けての想いについて

- 1 液晶産業企業と活発な既存の産業が融合した「産業クラスター形成」によりもたらされる人、モノ、情報の集積を活かした新しい亀山創りについて
- 2 「産・官・学」に市民の発想を得た取り組みをどのように進めるのか。具体的なスキームを示していただきたい

●教育問題について

- 1 新教育長の抱負と決意について
- 2 ゆとり教育による学力低下をどのように取り組んでいくのか
- 3 学校の現場の実態と「声」が反映された見直しについて

●学校給食について

- 1 合併後、教育委員会の新体制もできたが、亀中、中部中の給食についてどのように検討しているのか
- 2 いのちの問題として食育が

小川久子 《いずれの会派にも属さない》

重視されるようになったが、新教育長の学校給食についての考え方を問う

●川崎小学校の改築について

- 1 全国で学校内での殺傷事件が相次いでいるが、安全面で川崎小学校の構造をどう考えているのか見解を問う
- 2 川崎小改築への地域、学校からの要望が高まっているが、改築に向けて検討を始める時期がきているのではない

●西小学校改築事業のうち土堀について

- 1 学校への不審者の侵入などの事件が起き、学校の安全対策が問題となってきたているが、児童の安全面から考えて土堀より現在のようなフェンスの方がいいと思うかどうか
- 2 土堀の内側にフェンスを設置する考えのようだが、フェンスだけの場合と土堀とフェンスの場合では予算はどれぐらい違うのか
- 3 土堀は多聞櫓との「景観の調和」が目的というが、西小の周辺で「景観の調和」のため、建て方などを規制

した例があったのか

●臨時職員、嘱託職員の待遇改善について

- 1 臨時職員、嘱託職員が年々増加しているが、その理由はなぜか
- 2 嘱託職員の仕事は正規職員と同じかそれに準ずる仕事となっているが、昇給もなければボーナスもない。こうした待遇でいいと考えているのか
- 3 嘱託職員には保育士、学芸員、図書館司書など専門職が多く、それだけの知識や資格などを持つているが、それが待遇面でどう反映されているのか
- 4 臨時職員や嘱託職員にも時間外勤務があり、時間外手当も支払わなければならないが、きちんと支払われているのか

質疑と答弁

提出議案に対する質疑者とその主な内容は、次のとおりです。

14日 竹井道男、宮崎勝郎、橋本孝一、前田 稔
宮村和典、櫻井清蔵、服部孝規、小川久子
大井捷夫

議案第22号

政治倫理の確立のための亀山市長の資産等の公開に関する条例の制定について

問平成五年に国が、国会議員の資産等の公開に関する法律を制定したことに基づく条例であるが、資産等の所有者が市長本人に限られている。

家族名義を含まないとして、市長本人に限られている。また、鈴鹿市のように、当座、普通預金

も公開しないのか。

答国の法律においても配偶者などについては何ら規定されていない。これは、配偶者や家族にあっても独立した人格をもつ者であり、そのプライバシーへの配慮がなされた結果であると考え、法の主旨にのっとり本人に限ることとした。

議案第23号

亀山市子育て支援センター条例の制定について

問今までにそれぞれの支援センターの運営はどのように進められていたのか、なぜ合併して今の時期にこの条例化が必要なのか尋ねる。



子育て支援センター（あいあい）

答関乳幼児センターアスレインと総合保健福祉センターあいあい設置されている子育て支援センターについては、合併を機に両施設の子育て支援センターを地方自治法に規定する公の施設として位置づけ住民の福祉を増進する目的をもって、その利用に供するための施設であることを明確にした方が適切と判断し、制定となった。

問これまでの事業は、実施要綱により行ってきた。

議案第24・25号

亀山市心身障害児童福祉手当支給条例及び重度心身障害者介助者手当支給条例の制定について

問旧亀山市の心身障害児童福祉年金と旧関町の心身障害者福祉年金はともに年金であった。今回の条例では、福祉手当条例となっているが、どのように調整されたのか伺う。

答国の年金制度やこの二つの事業との整合を図り調整を行った。具体的な調整として、事業名で、二十歳以上の障害者は、国の障害者年金と区別するために、重度心身障害者介助者手当支給事業として、二十歳未満の障害児は、心身障害児童福祉手当支給事業として調整し、それぞれ新たに条例を制定することとなった。

議案第33号

平成十六年度亀山市一般会計予算について

問関温泉施設整備事業については、温泉掘削工事の遅延により、十六年度予算から足湯施設整備事業が削られた。

旧関町民は納得がいかない。昨年、関町議会で審議を経て了とした事業を白紙にされ承服できない。足湯については、温泉審議会を経なくても利用許可を出せば可能であるかどうか。

答新しい十六年度予算策定に当たり、十七年度の動力ポンプ設置は不可能になったという職務執行者からの引継ぎにより、三月末に繰越しても不執行になることから計上しなかった。この温泉問題については、湧出量、温度、泉質などいろいろな条件を確認して、今後は温泉を使つての効果を、経営問題も入れて考えていく。また温泉水が排出された時の下流への影響など一つ一つ検討して、その対策を立てていかなければならない。

議案第42号

平成十七年度亀山市一般会計予算について

問歳入について、国の三位一体の改革の影響について、市の資料によれば、市の削減額は、二億四千万円となっている。こうした削減で市民サービスに影響がでないのか尋ねる。

答国庫補助負担金の削減の影響による市の削減額としては、税源移譲として所得譲与税で措置されること、また、人件費の削減などの合併効果があることから、市民サービス予算の削減や負担金、使用料など、受益者負担金の増加となる改定は行っていない。

問老人クラブ補助金について、両市町でかなりの差があったのか、またどのような調整をされて十七年度予算が組まれたのか。

答老人クラブ補助金が十八地区に百六十二万五千九百円、一人当たり千四百二十円の補助金が支出された。新年度は八十二団体へ四百五十万円の補助をされるが、一人当たりの積算はどのようにされたのか。

答老人クラブへの補助金の積算については、旧亀山市の例により統一した。

一単位老人クラブ当たりの基準額が五千円で、加入者一人当たり六百三十円で会員数に応じて補助する。

問斎場建設事業の建設計画は、十五年度に基本構想が出され、

十六年二月に作られた第二次実施計画には建設事業が表現されている。同時に十六年度予算に、今回再計上されたような形で一億二千九百八十八万円が計上された。土地問題で慎重に検討された上、全額減額し、そして新たに十七年度に計上された。十七年度は予算執行ができるのか。

また、建設事業の基本構想はあるのか。

答新年度において、用地選定を早急に行い、各種測量、火葬炉、建築物の基本設計などに努力し、完成は平成二十年三月を予定している。

基本構想は、火葬炉四基、葬儀場二施設、告別室四室を基本に、特に環境に配慮した設備の充実を図っていきたい。

問シャープ棟に対して、交付される産業奨励金が、前倒しの形で今回十二億三千七百万円が交付金として計上されている。厳しい財政状況が予想されると説明があったが、財政調整基金が十七年度で残高はいくらになるのか。

また、六月に補正で新規事業の肉付けを行うと聞かすが財源として、基金を充当するのかが尋ねる。

〔答〕財政調整基金は合併時に約四十八億円で、平成十七年度末の残高は約二十億円と見込んでいる。

また、今後の補正財源としては、現段階では、十六年度の繰越金及び国の合併支援補助金などを充てたい。

〔問〕起債における交付税措置への影響について、これまで起債の毎に、後年度で四〇から五〇パーセント近い交付税措置があった。今回、不交付団

体になることにより、交付税への算入はあるが、交付税として交付されてこない。今後の財政上、どのような影響が出てくるのか。

〔答〕従来から交付税措置がある市債について、その償還金が基準財政需要額に算入されることから、基準財政収入額が需要額を上回れば、普通交付税は交付されないことになり、厳しい財政状況となる。

質問と答弁

市政に関する一般質問の質問者とその主な内容は、次のとおりです。

- 15日 中村嘉孝、豊田勝行、宮村和典、宮崎伸夫 前田 稔、片岡武男
- 16日 坊野洋昭、水野雪男、増亦 肇、前田耕一 宮崎勝郎、打田孝夫、
- 17日 松上 孝、伊藤彦太郎、竹井道男、櫻井清蔵 大井捷夫、小川久子、服部孝規

新亀山市民の一体感の醸成について

〔問〕市長のマニフェスト、平成十七年度の施政及び予算編成方針では、旧亀山と旧関の二つの輪を信頼の一つの輪にと

あるが、両市町は行政方針や施策からの諸制度や受益と負担等市民にとって感情の面

大きいものがある。しかし、これらを克服して合併した今、信頼の一つの輪にするための方策をどのように考えているのか伺う。

〔答〕合併後の一体感を高める手法として、イベントによる相互交流や各種団体の統合などがある。

中長期的には、新しいまち

づくりを進める中で、郷土として誇りをもっていた、できる個性あるまちづくりをしていくことが重要と考える。環境福祉、教育、生活基盤整備などの総合的な施策の展開により、一体感の醸成に努めなければならぬ。道路の整備、バスの問題など、ネットワークが大事であり、市民生活の中で利用しやすく便利なものへと、条件づくりに取り組んでいく。

市長就任にあたっての決意

〔問〕新亀山活力創造プランとマニフェストについて、マニフェストに市民一人一人が主役の市政の中で、「市民が顔を向ける市政へ」「市民から役所へ」とスタンスを変更しているが、市民参画型の行政を充実するとはどのようにされるのか。

〔答〕行政は、市民の方々と同じような視線で、市にどんな思いを持っていくか、また最近では、市民の方々がいろいろな場面で自分の思いを、こんなことができる、そういう加わり方をしていたら

り、市政に顔を向けていた、できる取り組み方を進めたい。

コンプライアンスの取り組みについて

〔問〕昨年九月に、近江八幡市へ安全で安心なまちづくりの取り組みについて視察調査を行った。同市にはコンプライアンス室が設置され、コンプライアンス条例も制定され、より具体的な取り組みが推進されていた。

この取り組みを行う段階では、取り組みの考え方や職員行動の規範をつかさどる組織が当然必要になってくるものと考えられる。取り組みに当たっての今後の組織づくりについての考えを尋ねる。

〔答〕組織づくりのねらいは、行政に対する不当な要求に屈することのない行政組織であると考えている。

新市においてふさわしい組織はどうあるべきか検討する。その中で、危機管理、防災及び不当要求に対応できる組織が必要で、同時に、条例等の整備チェックができる組織体制など、具体的に整備ができるよう検討する。

市長公約について

〔問〕市長は当選された時に、重点的な施策として、市民参画及び少子化対策を強調されていたが、特に少子化対策についての方策は何か。

〔答〕合併してよかったと喜び合えるまちづくりについて、旧亀山市と旧関町との整合性を含め、どのような計画があるのか尋ねる。

〔答〕少子・高齢化の中で、これからの社会を背負う子供たちの施策を充実しなければならぬと考える。今回提案した予算の中に、就学前児童の医療費の無料化に取り組み、また、教育・福祉・医療が連携して子供に関するさまざまな相談の窓口を一本化した子供支援室の設置を計画している。少子化対策は、これからさらに充実を図っていかねければならないと考えている。

平成十七年度

予算について

〔問〕近隣である四日市、鈴鹿、桑名、津といった各市の一般会計の予算は新聞紙上に載っ

ていたが、一人当たりの負担はどれくらいか。本市の市民一人当たりの負担率は年々高くなってきているが、負担軽減についての考えを聞く。

〔答〕各市の市民一人当たりの予算額は、津市二十七万四千円、鈴鹿市二十九万円、四日市市三十万千円、桑名市三十二万九千円、亀山市は三十八万九千円となっている。

市民を守るためのたくましい自治体をつくるために、亀山関テクノヒルズに液晶産業以外の産業も含めて誘致を進めているところである。こうした努力は短期的でなく中期的に引き続き行い、効率的な予算、事業執行に努める。

農業の方針について

〔問〕市長のマニフェストの中で、地産地消を総合的に組織化し、販路の拡大を図ると具体的に書かれているが、どのような方策を考えているのか伺う。

〔答〕現在の状況は、亀の市やJA亀山支店での直売のほか、学校給食でも地域内の食材を積極的に活用している。しかしながら、消費者の需要にこ

たえられる安定供給面の課題もある。農家の戦略は、直売産直、通信販売などの販売方法の改善や、加工やブランド化などによる付加価値販売により、農業所得の向上を図ることが必要と考える。



亀の市（総合保健福祉センター）

雇用対策について

〔問〕液晶関連企業の増設計画に伴う雇用対策について、現在操業中のシャープの社員は約八百名程度と聞いているが、亀山市内在住者で新規に雇用され、現在就労中の従業員は何名程度か。また、第二工場

の従業員規模、採用計画を把握しているか。

〔答〕シャープ亀山工場からの求人は、技術系が主で、市内、県内の高校卒業者のうち、シャープ株式会社へ入られた方は、四十六名でそのうちの六名が亀山高校からの卒業生徒である。

シャープ株式会社には協力企業も含め、昨年十二月末で二千六百五十人が勤め、うちシャープ社員は約九百五十名と聞いている。市内には二百二十人の方が在住されている。第二工場の雇用規模は、現段階では公表されていない。

拠点市街地の活性化について

拠点市街地の活性化について

〔問〕県の都市計画区域の整備開発及び保全の方針の計画書にある拠点市街地の概念は、住宅が密集し、業務機能、商業機能などが立地、集積しているところと定義づけている。新亀山市の拠点となるべき市街地は、椋川左岸丘陵地であり、小野川両岸の丘陵地に展開する住宅群である。人口の集中している地域で何が足りないか。何が必要か尋ねる。

〔答〕市の人口が集中するみどり町やみずほ台団地など、椋川左岸丘陵地等の地域では、若年層が市外へ転出するなど、定住化の意識が希薄になりつつある。定住の方策としては、住宅施策を初め、乳幼児医療費助成やバスの運行委託など、直接的、または間接的なサービスを多岐にわたり実施している。

新総合計画を策定する中で、定住策も含め、例えば企業誘致の効果を生かすため、住宅建設を促すような方策を検討する。

テクノヒルズについて

〔問〕平成元年当時、関町がクリエイティブタウン構想、亀山市はゴルフ場建設という形であった。そこに住友商事が、関町のクリエイティブタウン構想と合体した形で百六十ヘクタールのテクノヒルズ開発が行われた。合併前、亀山市内には、シャープ、関町地内には凸版印刷等が誘致されたが、今後、旧関町地内の開発見込み等について、どのように対応されるのか。

〔答〕亀山工区では工事が着工され、企業立地が実現したところである。一つの市となった現在、さきに着手されているテクノヒルズへの企業集積を高めていくことが所期の目的達成につながるかと考えている。関工区の問題点を明らかにし、開発をするという形になるかどうか、私どもから働きかけをする。

観光協会について

〔問〕観光協会について、合併協議の中で、旧関町の観光協会をもとに、速やかに新亀山市の観光協会を立ち上げるとなっている。旧亀山市には観光協会がなかったが、その理由を尋ねる。

旧関町観光協会の年間の補助金はどのくらいか。新亀山市の観光協会に対して、初年度いくらの補助金を予定しているのか。

また、新亀山市の観光協会が発足するに当たって、民主導か、官主導のものになるのか考えを聞く。

〔答〕旧亀山市には、石水溪観光協会が組織されているものの、

市域全体を包括する観光協会
の設立までには気運が盛り上
がらなかった。

旧関町では観光協会への補
助として、五百四十万円程度
を支出していた。新市の観光
協会には、自主的な活動を行
っていたため事務局人
件費六百七十万円の補助と協
会補助金を合わせて、千二百
十三万二千元を計上している。
民主導で、できるだけ早い時
期に設立を働きかけた。

関宿にぎわいゾーン 整備計画について

関温泉成分の調査結果は、県
下唯一のいろいろな成分の入
った温泉であるとの結果であ
った。ぜひこの温泉について
は早急にと町民の願いである。
この事業に特例債の利用計画
があるか尋ねる。

そして、この施設の着工時
期をまず示していただきたい。

関宿温泉は、新市における
一つの資源としてとらえてい
る。今後、関地域を初めとす
る市民の皆さんとの意見交換
も積極的に行いながら、ほか
の資源ともあわせ、その活用
を検討してまいりたい。

特例債の利用、工事着工の
時期は、今、答える段階に至
っていない。広い範囲での地
域資源を生かしたにぎわいつ
くりについて、総合的な検討
を行いたい。

保育における 給食について

関保育園、関幼稚園、加太
保育園の各園で、従来実施の
完全給食に対し、旧亀山市の
保育園で実施していた主食の
米飯持参を四月から導入した
いと説明があった。合併協議
会で、幼稚園の給食は、現行
のまま新市に引き継ぎ、亀山
市の中学校と幼稚園の給食は、
合併後、検討を行うこととし
ており、保育所の給食は、合
併協議会の協議が上がってい
ない。

合併協議会での決定を覆し
てまで、この米飯持参を推進
される根拠は何なのか。

合併協議会が上がっていな
い事務調整分、保育所の運
営等、いろいろ相違点がある。
新市になって、園長会議等
を実施し、今調整を行ってい
る。国からの補助金の交付等
の問題、また全国的に見て弁

当を持参している公立保育所
が多いことからの判断である。

道路整備について

国道二十五号線は根幹的な
路線として利便性がよく、利
用度も高い状況である。平成
十二年四月現在の資料による
と改良済み延長が千二百四十
八メートル、改良率が一二パ
ーセントと、大変低い状況で
あった。

現時点ではかなり改良延長
も延びていると思うが、現在
の改良済み延長と改良率はど
れぐらいなのか、また、今後
の計画についても伺う。

関県において毎年改良整備を
行っている。関地域内の総延
長は一万五千九百九十九メ
ートルで、これまで市場、梶ヶ坂、板屋
地内が整備され、改良済み延
長が二千四百九十九メートル、改
良率は二二・九パーセントと
低いものである。

今後とも板屋から北在家にか
けて、人家が連なった区間の
改良整備について要望してい
く予定である。



国道25号線（北在家地内）

建築改築時等の 必要事項について

関建築に伴う道路のセットバ
ックについて、どのように指
導されているのか。法律、条
例はいつからか。

セットバックとは、双方の
家が道路中心より二メートル
まで下がって各自が新築、建
てかえ時に提供し、完成時に
は四メートル道路となるが、
どこでチェックされているか。
また、今後の指導計画につ
いて伺う。

関昭和二十五年に施行された
建築基準法で、法の規定以前
に建物が建てられている道路
幅四メートル未満の道路でも、
道路中心線から水平距離二メ

ートルを道路の境界線とみな
す、いわゆるセットバックに
よるみなし道路が規定されて
いる。市の条例等の規定はな
いが、建築確認申請の審査並
びに完了時の検査の際に、北
勢県民局の建築主事によりチ
ェック、指導がされている。

嘱託職員の 待遇改善について

関嘱託職員は、市嘱託職員取
扱要綱で、一般職の職員が行
う業務内容と同一の業務、ま
たはそれに準ずる業務をし、
賃金は一般職の職員の給与と
の均衡を考慮して決めている。
つまり、正規職員と同じ仕事
をするかわりに、賃金や勤務
時間も正規職員並となっている
が、昇給もなければボーナス
もない、こうした待遇でい
いと考えるのか伺う。

関嘱託職員の賃金面は決して
よいと思っていない。他市の
状況を踏まえ、毎年見直しを
行っている。特に正規職員の
人勤による給与ベースが数年
にわたって減額となっている
ことから、現在は据え置きと
なっている。改善すべきこと
ろは改善してまいりたい。

地域審議会に準じた 組織作りについて

問 施政及び予算編成方針では、市民全体の意見が十分に反映され、地域の声がしっかりと届く体制づくりに取り組みたいとある。地域審議会の内容がイコールになるとは思わないが、地域審議会の任務内容も踏まえて、今回の組織でどのような審議を考えているのか、また設置期間を伺う。

答 新市まちづくり計画に位置づけられているさまざまな施策の中から、住民の一体感を醸成するための施策や、地域との連携、市民が参画・協働して取り組む施策、市民みずからが実践する事業の検討など、これらの施策の推進に向けた方策等を検討いただきました。

問 総合計画に反映できるように、意見・提言を検討いただき、総合計画策定時までをめどとした期間と考えている。

学校給食について

問 中学校で給食を実施しているところは全国で八割、県に

よっては一〇〇パーセント実施している。合併協議会では、合併後に調整を図ることとし、旧関町は合併前の例を引き継ぎ、旧亀山市は、小学校は自校方式で地産地消の食材を取り入れるとしている。また中学校は、検討のための委員会をつくり、進めるとなっているが状況を聞く。

問 給食は全国的にふえているが、実施後の一年目は子供たちの保護者は喜び、二年目から苦情・要望が殺到すると聞いている。それは、教職員からは昼食に時間がかかることから今までの教育相談、基礎学力の補充ができなくなったとか、子供たちからは、給食内容が思っていたのと違う、手作りがいいとの声もある。また集金も難しい状況と伺っているが、時間をかけて検討する。

教育問題について

問 CAPは、子供たちが生きていくために必要な権利を学び、権利を奪おうとする虐待やいじめ、誘拐など、あらゆる暴力に対し心と体と知識を

持つて立ち向かえるようになる防止プログラムである。ぜひとも学校教育に取り組み、予算化を提案するがどうか。

問 市内の幼稚園、小学校等では、CAPを初め誘拐防止教室、警察署の指導による不審者侵入時の訓練等々、各学校の計画に基づき、安全を守る取り組みをしている。

問 CAPについても、十六年度に井田川小学校でPTAとの共催で講習を実施された。また、昼生小学校、加太小学校でも、CAPの講習の実施を検討している。これらの成果によって、今後の予算化について検討してまいりたい。

地域に開かれた 学校運営について

問 最近、学校侵入事件が全国で発生している中、当市でもセキユリティーの確保のためにフェンスの取りつけ、施設が施されようとしている。地域に開かれた学校として、地域の方々に学校へ訪れてもらうよう推進され、子供の健全育成にも協力を求められている。

問 フェンス、かぎの取りつけ

により不便が生じるものと思うが、ハード面だけの措置でなく、ソフト面での対策は何か尋ねる。

問 安全確保のためにハード面とソフト面の両面が大切かと思う。ソフト面については、子供たち一人一人が自分の体や自分の命を守る意識を持つこと。そして、子供を守る教職員の校内体制の整備、危機管理マニュアルの作成、安全点検、緊急時の事故防止のための訓練が重要である。

学習指導要領について

問 先月、文部科学大臣が中央審議会へ、ゆとり教育を柱とした現行の学習指導要領の全面見直しを要請し、二〇〇六年度にも見直されることは承知のとおりである。

問 学校の現場の声が反映された見直しでなければ実が上がりたくないと思うが、教育委員会として、どう対処し、取り組むのか伺う。

問 学校教育で一番大事なことは、学ぶ意欲、学ぶ姿勢の育成のために、一つは、学習の基礎・基本の確実な定着、二つ目に、生涯学習につながる学習方法、学習態度の定着、三つ目に、心と時間のゆとりの中で学ぶことが重要な取り組みであると考え、学校現場と緊密な協議を重ねて見直しの方向に進めたい。



亀山南小学校



産業建設・教育民生・総務の

各常任委員会が管内を視察

二月二十八日から三月二日にかけて、各常任委員会は、それぞれ所管に属する施設等の現地視察を行いました。

産業建設委員会(2/28)

本町公園・林業総合センターなど

各課長から所管事項の説明を受け、午後から、改修された本町公園、両尾・安坂山地区の農業集落排水事業処理施設、山下町の市道十四号、二十三号道路改良力所、加太板屋の林業総合センターなど、六カ所を視察しました。

本町公園は、昭和四十六年に児童公園として開園しましたが、少子高齢化が進む中、子供だけでなく高齢者や障害者など、多くの人に利用しやすい機能への改善や老朽施設の改修が求められました。そこで、公園の再整備にあたって、「地域の方々による公園づくり」を実践するため、住民参画型のワークショップ(検討会)により整備が行われました。



改修された本町公園

平成十五年六月に第一回のワークショップ(検討会)を開催してから平成十七年一月まで十一回にわたり、地域の方々やアドバイザーが一体となり多くの検討を重ねられ、本年三月に完成しました。

生まれ変わった公園の愛称を「ひだまり」とし、憩いの場として、これから地域の方々の手で成長していく予定の公園です。

教育民生委員会(3/1)

関まちなみ資料館・関乳幼児センターアスレなど

教育民生委員会は、関まちなみ資料館、関宿旅館玉屋歴史資料館、関学校給食センター、関乳幼児センターアスレ、総合環境センター、医療センター、環境再生事業用地など九カ所を視察しました。

関乳幼児センターアスレは、同じ地域に暮らす子供たちが保護者の事情にかかわらず共に遊び、共に学び、共に生活でき、地域のさまざまな人々との交流ができることを目的として造られた、幼稚園と保育園の合築園舎です。

施設の概要は、幼稚園の保育室三室、保育園は五室と乳児室、ほふく室など木造一部RC造り一階で、園内は木の持つ優しさと温もりを感じ、さまざまな場所でのバリアフリーが工夫されています。

施設内には、子育て支援センターも設置され、子育てに関する情報公開を進め、育児相談機能も充実しています。共に子育てする者同士の交流があり、親子のための場所となっています。



関乳幼児センターアスレ

総務委員会(3/2)

消防防災備蓄倉庫・北部ふれあい交流センターなど

総務委員会は、本町の消防防災倉庫、野登地区コミュニティセンター、消防庁舎、関町北部交流センター、関支所、加太出張所など六カ所を視察しました。

以前の本町の消防資機材庫は、昭和三十六年に建築されたもので築後四十四年経ち、老朽化のため解体しました。

新たな防災倉庫は、今日の複雑多様化する各種災害に適切に対処し、市民生活の安全・安心の確保を図るため消防資機材と非常用品の備蓄を

した防災備蓄倉庫として平成十六年十二月に完成しました。倉庫内には、消防資機材として、BCテロ対策用除染シヤワー、可搬ポンプなど、緊急用消防援助隊資機材としてエアータント一式、毛布、発電機、油処理剤など収容し、飲料水、食料(乾パン、五目飯、粉ミルク)、簡易トイレなどが備蓄されていました。



消防防災備蓄倉庫(本町)

お悔やみ

市議会議員の辻村博史氏が、三月十九日、現職でご逝去されました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。